



桥本先生 一家

日语听说教程

中级

陈安丽 编著



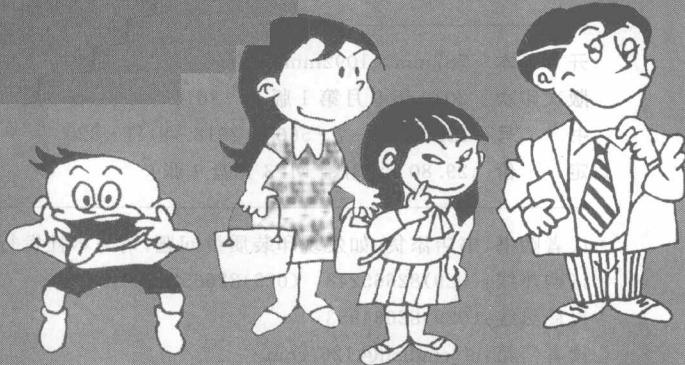
西安交通大学出版社
XI'AN JIAOTONG UNIVERSITY PRESS



桥本先生 一家

高语听说教程

中 级



西安交通大学出版社
XI'AN JIAOTONG UNIVERSITY PRESS

图书在版编目(CIP)数据

日语听说教程. 中级. 桥本先生一家/陈安丽编著.
—西安:西安交通大学出版社,2010.9
ISBN 978 - 7 - 5605 - 2918 - 9

I. ①日… II. ①陈… III. ①日语-听说教学-教材
IV. ①H369.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2008)第 124710 号

书 名 桥本先生一家——日语听说教程 中级
编 著 陈安丽
责任编辑 张长安 黄科丰

出版发行 西安交通大学出版社
(西安市兴庆南路 10 号 邮政编码 710049)
网 址 <http://www.xjupress.com>
电 话 (029)82668357 82667874(发行中心)
(029)82668315 82669096(总编办)
传 真 (029)82668280
印 刷 陕西奇彩印务有限责任公司

开 本 787mm×1092mm 1/16 印张 13.125 字数 173 千字
版次印次 2010 年 9 月第 1 版 2010 年 9 月第 1 次印刷
书 号 ISBN 978 - 7 - 5605 - 2918 - 9/H · 820
定 价 29.80 元(附赠 MP3 光盘 1 张)

读者购书、书店添货、如发现印装质量问题,请与本社发行中心联系、调换。

订购热线:(029)82665248 (029)82665249

投稿热线:(029)82664953

读者信箱:cf_english@126.com

前言

本套日语听说教材包括初级和中级两本书，初级教程为《和一郎一起说日语——日语听说教程初级》，中级教程为《桥本先生一家——日语听说教

本套日语听说教材包括初级和中级两本书，初级教程为《和一郎一起说日语——日语听说教程初级》，中级教程为《桥本先生一家——日语听说教

《和一郎一起说日语——日语听说教程初级》一书是初级日语会话听力基础篇，为零起点的日语学习者编写，可作为大中专学校学生、短期班学员及日语自学者的听说教材。共 20 课，每 5 课为 1 单元，共有 4 个单元；由重点提示、本文、会话、练习、解释及应用组成；另附单词、会话汉语翻译。

初学时的标准发音非常重要，可以为日后的日语学习打下一个良好的基础，本教材从专业角度出发，系统概括地讲解了日语发音及口语听说特点，一定程度上弥补了诸多日语教材在此方面的不足。

本教材考虑到零起点日语学习者的特点，以基本语法句型为线索，反复进行听说模仿，内容生动活泼易掌握，会激发日语学习者的兴趣，以养成良好的学习习惯。

本教材的语法解释部分也以初学者的角度出发，不做过多的理论说明，重在听说的实际掌握，简单明了浅显易懂。

背诵是初学者最好的听说实践，本教材每课后附有一日一句及每应用单元附有伊索寓言，为初学者提供了背诵素材。

相信每位学习者能愉快而顺利地完成任务进入下一阶段的学习。

《桥本先生一家——日语听说教

本教材作者在日留学、工作、生活十五载，拥有丰富的日语专业知识及教学经验。本册内容围绕日本人的家庭、公司、医院、银行、超市等情景展开，题材新颖，内容简洁，即可模仿学习日本职员、主妇的会话，也可听到小学生、幼儿园小朋友的对话，偶尔有大阪方言出现，体会到语言的最高境界。

每课由与课文有关的背景词汇开始，给学习者一个提示和准备，并提供想象的空间。会话部分和解说部分是每课的重点，由日本人日常会话中最常用的日语

简体形式组成，通俗简单，明快易懂。当然根据课文内容的不同，也有部分是敬体表现形式。场景会话，汇集了同一类型的各种表现形式，生活气息浓厚，易懂易记易掌握。小知识部分则介绍了日本概况，日本事情等，有一定的难度，考虑到会话听力教材的特点，此部分采用与口语相近的「ます、です体」。

此外，基本听说句型一栏中，教材中没附汉语译文，目的是让学习者自己动脑思考，亲自动手查找，主动动口请教，才能充分掌握听说的基本技能。

本教材所需课时约 42—50 学时，前 5 课可加快，之后每课习得时间约 2 学时，根据学习者自身的水平调节学习进度。

此教材经日本国立冈山大学教授工藤进思郎先生指导，并在青岛科技大学试用 3 年后，多次修改而成。借此机会感谢青岛科技大学日语专业学生的鼎立相助。

感谢以下参与录音人员：

大崎昭三 中国某大学外教，在文中担任“橋本さん”等角色的录音。

大崎順子 大崎昭三的夫人，在文中担任“先生”等角色的录音。

橋本和英 中国名字黄贊华，归侨，小学 6 年级学生，在文中担任“一郎”角色的录音。

橋本和佳 中国名字黄舒皎，归侨，高一学生，在文中担任“和佳”角色的录音。

内藤瞳 美国加里弗尼亚州立大学 3 年级学生，在文中担任“解说”等角色的录音。

陳安麗 中国某大学副教授 归侨 在文中担任“純子さん”等角色的录音。

本教材的部分例句参考了日本国际交流基金·《制作教材》，在此谨表谢意。

敬请各位同仁及读者批评指正！

2010.6
陈安丽

本教材由常熟理工学院教材出版资助出版，出版号 JX11022。

• 2 •

目 录

アバウト紳人の案一ふち本翻るで登録

第一課 朝の挨拶	(1)
第二課 別れの挨拶	(7)
第三課 朝食	(12)
第四課 新入社員	(18)
第五課 お友達の家へ遊びに行く	(24)
第六課 本屋さんへ	(31)
第七課 電話	(38)
第八課 一家団欒のひと時	(44)
第九課 買い物	(52)
第十課 モノレール	(59)
第十一課 花見	(66)
第十二課 錢湯	(72)
第十三課 クリスマス	(79)
第十四課 病院	(86)
第十五課 救急車を呼ぶ	(94)
第十六課 年始回り	(101)
第十七課 銀行	(107)
第十八課 アルバイトを探す	(113)
第十九課 市役所	(119)
第二十課 落し物を交番へ	(126)
第二十一課 お父さん、遊ぼう	(134)
第二十二課 兄弟げんか	(140)
第二十三課 家族旅行	(146)
第二十四課 大使館からの電話応対	(153)
第二十五課 橋本さんのごあいさつ	(158)
参考译文	(163)

第一課 朝の挨拶



キーワード 主题相关单词

会社 学校 幼稚園 おはよう おはようございます



会話 对话

朝です。橋本さんは営業一課に入りました。

鈴木：橋本さん、おはようございます。

橋本：おはよう。

味生小学校です。二年一組の和佳さんは廊下で先生に会いました。

和佳：先生、おはようございます。

先生：おはよう。

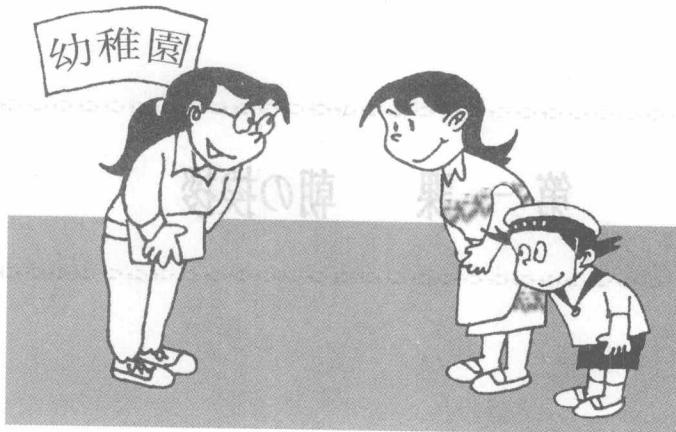
光幼稚園です。一郎君はお母さんに連れられて登園しました。

純子：先生、おはようございます。

先生：橋本さん、おはようございます。

先生：一郎君、おはよう。

一郎：おはようございます。



解説

日本では一日がおはようからはじまる。本文に出てきた橋本さんは営業マンのようで、同じ部署の女子社員の挨拶に「おはよう」と返した。それは日本の習慣で、男女によって社会的地位はもちろん、言葉づかいも違うのである。~~しかし女性のほうは丁寧語を使うことが多い。~~

そして、学校の生徒は先生にきちんと挨拶をしなければならない。幼稚園の先生たちは園児の父母たちと園児に対して挨拶の言葉も違う。それに注目しよう。

また、相手の名前を呼んで挨拶するほうが親しみやすいので、知っている日本人の名前を覚えよう。

最後に皆さんに考えてもらいたいことがある。本文では幼稚園の先生は純子さんを橋本さんと呼んだのだが、それはなぜだろうか。答えは純子が名前で、橋本は純子の姓であるからだ。友達の間では下の名前だけで、それ以外は姓で呼ぶのがよくある。



「初対面」の基本フレーズ

A：趙君、同僚の矢野さんと佐藤さんです。

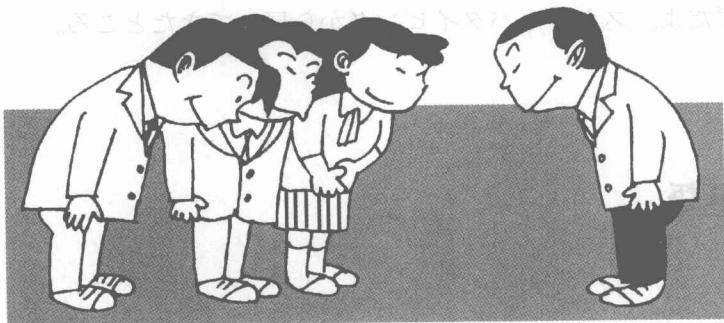
B : はじめまして、矢野です。どうぞよろしく。

C : はじめまして、同じ営業部の佐藤です。趙さんのこと、よく上野さんから聞いております。

D : はじめまして、趙です。よろしくお願いします。

A : みんな、座って話しましょうか。

D : どうもありがとうございます。



A : まず自己紹介をさせていただきます。陳英國と申します。始めまして、中国の青島から参りました。

B : はじめまして、河野と申します。

A : 私はハイアル(株)東京事務所に勤めておりますが、お仕事は何をなさっていますか。

B : 私はオキ電気(株)の企画部に所属しています。どうぞよろしく。

A : こちらこそ。お会いできて嬉しいです。



1. まだお互いに、ご挨拶していませんね。
2. お二人とも、お互いにご存じなのですか。
3. お会いするのを楽しみにしていました。



女：こんにちは、調子はどう？

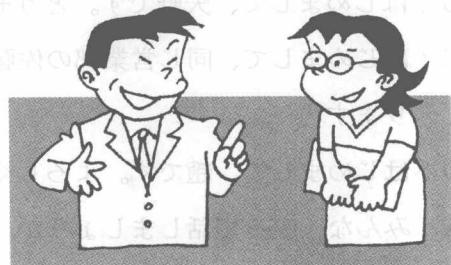
男：いいよ、君は？

女：まあまあ。

男：最近、何か変わったことでもあったかい？

女：ハワイへ行っていたの。楽しかったわ。あなたはどうしてたの？

男：相変わらずだよ。スクエーバダイビングから戻ってきたところ。



新出単語

会社(かいしゃ)

名

公司

営業(えいぎょう)

名/サ

营业

一課(いつか)

名

一科

味生(あじふ)

名

地名

廊下(ろうか)

名

走廊

幼稚園(ようちえん)

名

幼儿园

園児(えんじ)

名

幼儿园的小朋友

登園(とうえん)

名/サ

上幼儿园

丁寧語(ていねんご)

名

郑重语

呼称(こしょう)

名/サ

称呼

部署(ぶしょ)

名

部门

習慣(しゅうかん)

名

习惯

男女(だんじょ)

名

男女

地位(ちい)	名	地位
連れる(つれる)	動	連れて
挨拶(あいさつ)	名/サムネイム	寒暄
生徒(せいと)	名	小学生
普通(ふつう)	名/形动/副	普通

☆ 練習1 (填空)

- ○で○○に (と) 会いました。
- ○は○○に連れられて、
- ○は○○に挨拶する。
- ○ (動) てもらいたい。

☆ 練習2 (读内容)

おはよう。

おはようございます。

こんにちは。

こんばんは。



日本の豆知識

日本の位置

日本はアジア大陸の東にある島国です。

大きい島は、北から、北海道・本州・四国・九州といいます。日本の東と南西には太



平洋があります。

北極

南

(ひがし) 朝鮮

アジア大陸と日本の間には、オホーツク海と日本海と中国の東海があります。

日本の西には、朝鮮半島や中国大陸があります。また、北には樺太「サハリン」、南には台湾があります。

日本の広さは 37 万平方キロメートルです。

人口は約 1 億 2 千万人です。



獨立の日本

獨立の日本

。すなはち東の朝鮮大陸で日本は

太田川西南に東の本日。すなはち朝鮮・中国・日本・韓国・朝鮮半島・日本海をもつて



第二課 別れの挨拶

キーワード

放課後 さようなら バイバイ 声を掛ける お先に失礼します



会話

午後です。放課後、和佳ちゃんは先生とクラスメートたちに声を掛けて、家に帰ろうとしています。

和佳：先生、さようなら。

先生：和佳ちゃん、さようなら。

生徒：和佳ちゃん、さようなら。

和佳：バイバイ。

幼稚園では、一郎君はお母さんに迎えられて、帰りの用意をしました。幼稚園の先生たちは一郎君に手を振りました。

先生：一郎君、バイバイ。

一郎：バイバイ。



純子：どうもありがとうございました。さようなら。

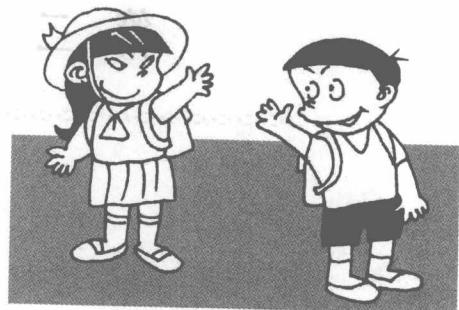
夕方七時頃、橋本さんは課長と同僚の皆さんに声を掛けて、会社を出ます。

橋本：お先に失礼します。

課長：ご苦労様でした。

同僚：お疲れさまでした。さようなら。

橋本：さようなら。



解説

日本では学校でも会社でも別れる時、お互いに「さようなら」とよく言うのである。しかし、親しい者同士、特に若い人たちには、「バイバイ」や、「バイ」などと言って、手を振って別れることが多い。年配の人でも使うことがある。幼児に向かっては当然のように言う。

一般の辞書の中には、「バイバイ bye-bye (俗語)」を「もと、幼児語、さようなら」と解説するものもあるが、乗せていないものもある。それは教科書にも普通は出ていない。いわゆる教室日本語と生活日本語の違うところなのである。

また、会社では「お先に失礼します」とは、「失礼ですけれども、先に帰ります」という意味になり、それに対して、部下に「ご苦労さまでした」、同僚や上司の人には「お疲れ様でした」などと言う。



「別れ」の基本フレーズ

A : 遅くなったわ。そろそろ失礼しなくちや。

B : もう帰るのかい？ もう少しいいじやない？

A : 残念だけど、お招きいただきてありがとう。いろいろとお話ができた、
楽しかったわ。

B : こちらこそ。駅まで送るよ。

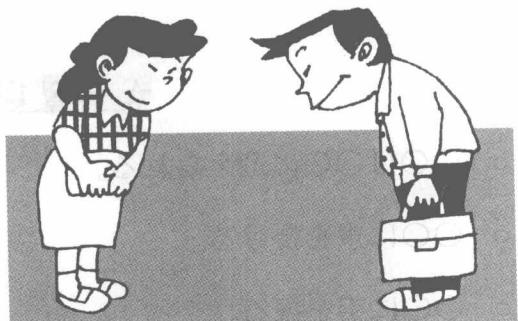
A : 気を遣わせてすみません。

B : 駅に着いたよ。気をつけて帰りな
さい。

A : 今夜はとても楽しかった。ご家族
によろしく。

B : 伝えるよ。さよなら。

A : じゃあ、月曜日にまた。



新出単語

放課後(ほうかご)

名

下课后

迎える(むかえる)

动

迎接

用意(ようい)

名/サ

准备

振る(ふる)

动

挥



別れる(わかれる)	动	分手
夕方(ゆうがた)	名	【スイガタ】傍晚 [yūgata]
年配(ねんぱい)	名	上了年纪的人 [nenpaisa]
辞典(じてん)	名	字典 [jiten]
掲出(けいしゅつ)	名/サ	刊登 [keishutsu]
解説(かいせつ)	名/サ	解说 [kaisekutu]
幼児語(ようじご)	名	幼儿语 [yōjigoto]
いわゆる	连	所谓 [iwayuru]

☆ 練習1 (填空)

- ○は○ ○に迎えられる。
- ○に声を掛ける。
- ○に手を振る。
- ○と解説する。

☆ 練習2 (读内容)

さようなら。
お先に失礼します。
ご苦労様でした。
お疲れ様でした。



日本の豆知識

日本の四季

日本は南北に細長い国で、暖かい地方や寒い地方があります。

また、日本には、春・夏・秋・冬の四季があります。三月・四月・五月は春です。

六月・七月・八月は夏で、九月・十月・十一月は秋です。十二月から二月までは冬です。

北海道では、冬はたいへん寒いですが、夏はあまり暑くないです。沖縄や九州の南では、冬でも、あまり寒くはありません。

九州では、桜の花は、三月のおわりに咲きますが、東京では四月の初めに、北海道では五月のはじめに咲きます。

日本では、夏は昼間の時間が長いですが、冬は昼間の時間が短いです。

三月二十一日頃と、九月二十三日頃は昼間と夜の時間が同じになります。春のこの日を春分の日、秋のこの日を秋分の日といいます。

